

Visionista

VOL.05

2024 | summer

[ヴィジヨニスタ]

受入企業Interview

- 株式会社菅原工業
- 有限会社カミヤマ
- 株式会社TK建装
- 株式会社守谷鉄筋
- 株式会社山之内工建

次の
スター社員は、
世界にいる!

わたしの視点
IDEAS COLLECTION
Future
となりのホンネ

Visionista

[JAC特定技能導入事例集]

VOL.05

2024 | summer

2024年8月1日発行

発行：一般社団法人建設技能人材機構 管理部 〒105-8444 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37森ビル9階
編集：〒105-8444 株式会社KeyProCreative 取材：株式会社KeyProCreative 印刷：大村印刷株式会社



一般社団法人
建設技能人材機構
Japan Association for Construction Human Resources

本誌掲載内容の無断転載を固く禁じます。

「Visionista」に関するご意見・ご要望

MAIL : info@jac-skill.or.jp

Visionista ホームページはこちら
<https://visionista.jac-skill.or.jp/>





VOL.05
2024 | summer

CONTENTS

受入企業 Interview

- 05 海外には日本の働き方を、
気仙沼には世界から優秀な人材を
株式会社菅原工業
- 09 日本に魅力を感じて働こうと来日する
彼らの受け皿になりたい
有限会社カミヤマ
- 11 ベトナムと日本の職人が
両国を行き来できる体制をつくるのが夢
株式会社TK建装
- 13 日本に来て仕事をする、
そんな熱意ある彼らを現場リーダーに育てたい
株式会社守谷鉄筋
- 15 君たちの力は
我が社の未来に輝きを与える
株式会社山之内工建

17 困った時に活用したい
IDEAS COLLECTION

- 外国人材の建設キャリア Future
- 25 NGUYEN THANH LONG/ロンさん
 - 27 PHAN CAO TRIEU/チエウさん

29 アンケートから読み取る
となりのホンネ

「特定技能外国人制度」の施行により、建設企業において外国人材を「現場を支える技術者」として受け入れ、育成する取組みが広がっています。そんな中、外国就労者の技能向上への日々の研鑽・取組みを応援することを目的にしたのが「Visionista」です。全国各地の企業を取材し、参考になる事例やアイデアなどを収集・紹介しておりますので、ぜひご活用ください。

わたしの視点 ～ my point of view ～

- 19 本気で関わり育てれば、お互いに必ず成功すると信じています
株式会社山之内工建 代表取締役 山之内 守 氏
- 21 朝から読めない図面と向き合うそんな努力家ばかりです
株式会社守谷鉄筋 専務 杉浦 英統 氏
- 23 評価基準が見える化したことで、より一層努力してくれるようになりました
株式会社長井工務店 RC 事業部 部長 吉川 彰慶 氏





Visionista

[JAC特定技能導入事例集]

Visionista(ビジョニスタ)とは

思い描いた夢と情熱を胸に海を渡り、
未来を切り開こうとする者たちがいる。
そんな挑戦者たちを支え、ともに歩もうとする企業がある。

今、それぞれのビジョンが交差する。

#01

株式会社菅原工業

海外には日本の働き方

宮城県の株式会社菅原工業では、2014年から受入れを開始し、現在もインドネシア人を雇用しています。今回は、同社代表の菅原さんとインドネシア人のイツサンさんの声をご紹介します。(2024年1月17日取材)

企業プロフィール
所在地:宮城県気仙沼市赤岩迎前田132
事業内容:道路整備や橋の構築/水道の整備/堤防の建設などの工事
従業員数:44名 (内:特定技能1名 技能実習4名 すべてインドネシア人)
Website:http://sugawarakogyo.co.jp

給与体系イメージ
・特定技能(月額基本給) 約18万円~
※社内基準一律
・技能実習(月額基本給) 約17万円~

初期導入: 宿舍の確保 生活家電や生活備品 Wi-Fi環境
送迎車両 自転車

を、気仙沼には 世界から優秀な人材を

イツサンさん

2023年に技能実習生から特定技能1号へと移行したイツサンさん。その理由は、「日本人と同じような生活がしたかったんです。例えば、車の免許を取れるようになったり、寮ではなく自分でアパートを借りたり、自由に暮らしてみたかった」。帰国後は実業家になることを目指しているのだとか。「インドネシアでお菓子の屋台を運営するのが夢です」。今の仕事について何うと、「職場が上下関係にうるさくなくて、毎日働くのが楽しいですね」と、上司や同僚と笑い合っていました。

自由な生活がしくて特定技能になりました

現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、同社に在籍する特定技能1号のイツサンさんと世話係の藤田さんにお話を伺いました。

藤田 春彦氏

先輩社員

インドネシア人の受入れが始まった当初は、気仙沼の方言が伝わるか不安でした。特に危険な作業の時にとっさに出る注意喚起の言葉が理解できないと危ない。実際に、東北特有の「けろ」「だべ」という語尾に付く言葉に対して「それはどういう意味ですか?」と、質問がきました。なので、「語尾は無視していい。それ以外の言葉で判断して」と、一期生には説明したと思います。だけど、そんな風に試行錯誤してコミュニケーションを取っていくことが、会社の活気につながっていくんです。

日々の試行錯誤が活気へとつながっています

受入企業 Interview

代表取締役
菅原 渉氏

— 受入れを決めた理由は？

当社は2011年以降、震災復興で売上げも急激に上がっていました。人手が足りないほど忙しかったのですが、復興事業はいつまでも続くわけがなく、雇用を抱えても将来的には維持することが困難になることは目に見えていました。そこで、せつかなので外国人を受け入れて育て、海外進出の足がかりにしようと考えました。

— 受け入れて良かった点は？

当初の目的だった海外進出が実現できたことです。インドネシアで道路工事の際に剥がされたアスファルトを再利用する「リサイクルアスファルト」を製造しているのですが、技能実習生だったインドネシア人が現地のプラントで働くなど、うまく連携することができています。

— 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

「外国人だから」と特別扱いせず、あえて日本人従業員と同じように接しています。もちろん現場への送迎や生活面のフォローはしますが、その他は日本人と変わりません。一緒に食事にもいきますし、地元のお祭りではともに太鼓を叩いた思い出もあります。彼らのすることもあまり縛りはず、夜に外出禁止にすることもない。とにかく自由を重んじていました。

— 導入予定の企業へメッセージをください。

今は、日本企業が外国人材を選んでいます。この先は逆になります。特にインドネシアは後10年もすれば日本のGDPを抜く勢いで、自国で稼げるようになります。そうなると、今度は日本を選んでもらうようにアピールしなければなりません。これからは海外に働き手を求める時代です。国籍を超えて従業員を大事にする、そんな企業が生き残るのだと思っています。



「外国人は仕事を覚えようとする気持ちが強い」(藤田さん)



仕事に人一倍まじめなイッフサンさん



「特定技能2号を目指して勉強中です！」(イッフサンさん)



SUGAWARAKOGYO



「目標を持っている人が伸びやすい」(菅原社長)



山道での舗装工事の様子



#02

有限会社カミヤマ



日本に魅力を感じて

埼玉県の有限会社カミヤマでは、2014年から受入れを開始し、現在もフィリピン人を雇用しています。今回は、同社代表の神山さんとフィリピン人3名の声をご紹介します。(2023年10月23日取材)



受入企業 Interview

代表取締役
神山 孝氏

— 受入れを決めた理由は？

友人の会社がフィリピン人を受け入れていることから興味が湧き、送り出し機関に問い合わせたのがきっかけです。当時、人手に困ってはいなかったのですが、海外には優秀な人材が多くいると聞いて、受入れを決めました。結果、ジェシーと出会えたので決断は正解でした。

— 受け入れて良かった点は？

送り出し機関が言っていた通り、本当に優秀で努力家が多いことです。建設業は作業によって大変でつらいことがあります。近頃、日本人の若手はくじけて辞めてしまう、なんて話を聞くことが増えているなかで、彼らは本当によくついてきてくれている。感謝しかないですね。

— 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

決して大袈裟なこととはしてなくて、一緒に食事をしたり、お酒を飲んだり、春には花見をしたりと、仕事以外での交流は増やすようにしています。また、当たり前ですが、本当に気をつけているのは、怒鳴り声を上げたり、荒い言葉を使ったりしないことです。受け入れた以上、我が子だと思って大切に育てようという心がけを持って接しています。

— 導入予定の企業へメッセージをください。

異国の地で働くことは想像以上に大変なことだと思います。「帰りたい」と言い出す人もなかにはいるでしょう。でも、せっかく自社へ来てくれたのだから「日本で働いてよかった」と喜んでもらえることが一番です。母国に家を建てられたとか、帰国後に就いた仕事で日本の技術が役立ったとか、彼らの人生にプラスになる経験をさせてあげてほしいですね。

企業プロフィール
所在地: 埼玉県朝霞市田島1-4-3
事業内容: 鉄筋工事業 など
従業員数: 6名 (内: 特定技能2名 技能実習1名 すべてフィリピン人)
初期導入: 社宅一軒家 生活用品一式 Wi-Fi環境 現場への送迎車

給与体系イメージ
・ 特定技能(月額基本給) 約27万円
※年に一度昇給あり
※職能手当、資格手当
・ 技能実習(月額基本給) 約23万円

働こうと来日する 彼らの受け皿になりたい

ジェシーさん



2021年に2級技能士を取得したジェシーさん。「学科の問題が漢字なので苦労したけど、周りのサポートのおかげで合格できました」。社長をはじめ先輩たちとは家族のような関係だそうで「入社当時、差別されないか怖かったけど、やさしく受け入れてくれたのが本当にうれしかった」。今度は自分が母国から来る後輩たちにやさしくしてあげたいと語ってくれました。

現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、同社に在籍するジェシーさん、ニックさん、レッチーさんの3名にお話を伺いました。

ニックさん



ニックさんは日本で大工として働く友人から「日本は本当にいい国だよ」と教えてもらい、来日を決めたそうです。「来てみてつらいこともあるけど、この会社で出会った仲間と一緒に働いているときに本当に楽しいんです」。プライベートでも、同僚のフィリピン人同士で休日にバスケットボールをしているのだとか。「3人とも仲良く、毎日充実しています!」

自分がやさしくされた分だけ、
後輩たちにやさしくしてあげたい

レッチーさん



フィリピンでは電気設備の仕事をしてきたレッチーさん。なぜ鉄筋の仕事を選んだかという「同じ建設業なので、何とかかなるかなと思いました(笑)」。13歳と11歳の息子がいて、大学を卒業するまでは今の仕事をがんばりたいとか。「いつかは日本に呼んで一緒に暮らしたいですね」。今の楽しみは、ジェシーさんやニックさんとの部屋での飲み会だそうです。

仕事もプライベートも
同郷の仲間がいて最高に楽しいです!

息子たちが立派に育つまでは
この仕事をがんばりたい!

#03 株式会社TK建装



千葉県の株式会社TK建装では、2014年から受入れを開始し、現在も多くのベトナム人を雇用しています。今回は、同社代表の高橋さんとベトナム人2名の声をご紹介します。(2024年4月10日取材)



受入企業 Interview

代表取締役
高橋 雅洋氏

— 受入れを決めた理由は？

10年前、父が会長で私は親方として働いていたのですが、職人を目指す若者が少なくなってきて、募集をかけてもあまり反応がない状況でした。そこで外国人の受入れを試験的に始めたのがきっかけです。私が外国人を監督する立場だったのですが、言葉も文化もわからない中でスタートしたのですが、1年間は家族よりも一緒に過ごし、生活をサポートしていました。

— 受け入れて良かった点は？

私の目には、10年前のベトナムが昭和初期の日本に見えていました。暮らしを豊かにしようと、とにかく仕事に真面目で努力する。「人材」という言葉がありますが、やる気があって生活のために汗を流す彼らはまさに当社の財産です。そんな彼らと働けるのは喜びでしかありません。

— 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

10年前は、彼らを連れて買い物に行くと、ベトナム人が珍しいのか、怪訝な目で見られることが多々ありました。そこで、あえて私は彼らをいつも一緒に連れて歩き、夜もご飯へ連れ出していました。また、行きつけの居酒屋にも行って、私の飲み仲間を紹介して仲良くなってもらい、彼らに「ここにいていいんだ」とわかってもらう努力はしていました。

— 導入予定の企業へメッセージをください。

日本に飛び込んできた彼らを、とにかく守ってあげてほしいです。きちんとサポートしてあげれば、間違いなく会社にとって戦力になります。ただし、重要なのが教育です。我が子でも難しいのに、ましてや外国人なら悩むのは当然。試行錯誤しながら進むしかありません。大事なのは、仕事を教えるだけでなく、人間的な成長にも目を向けること。あいさつや礼儀など、生涯使える人間力を養ってあげてほしいと思います。

企業プロフィール
所在地:千葉県船橋市北本町2-44-15 NAビル101
事業内容:金属(軽鉄)工事/ボード、クロス、床、塗装などの内装仕上げ工事 など
従業員数:20名 (内:特定技能3名 技能実習6名 すべてベトナム人)
Website:https://tk-kensou.co.jp

初期導入:寮の確保 エアコン 生活家電(炊飯器・洗濯機・電子レンジ) 寝具 Wi-Fi環境 ベトナム人の講師による日本語勉強会

給与体系イメージ
・ 特定技能(月額基本給) 約32.6万円～
※技能習熟等に応じた昇給あり
・ 技能実習(月額基本給) 約22万円～

が両国を行き来できる体制をつくるのが夢

現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、特定技能1号として働くベトナム出身のヒエップさん、アインさんにお話を伺いました。

ヒエップさん



初めて日本に興味をもったのはアニメがきっかけだったそうで、「ワンピースが一番好きで、観ているうちに日本へ行きたくなりました」というヒエップさん。仕事と日本語の勉強で忙しいなかでも、各地の現場へ行く毎日が新鮮で楽しいとか。車の免許も取得していて、現場への送迎も任されています。趣味は散歩。観光にも出かけていて「東京タワーがきれいでした!」。



各地の現場へ行く毎日が新鮮で楽しいです!

アインさん



「社員全員が親切で、この会社で働けて本当によかったと思う」と、笑顔のアインさん。「難しい問題が発生しても、先輩に電話すればすぐに解決してくれるんです」と、上司への信頼が伺えました。今は一人でアパートを借りて生活していて、今年中には同じベトナム人の奥様と同居を開始するのだとか。日本でも結婚式を挙げ、高橋社長にも祝ってもらったそうです。



難しい問題も頼りになる先輩がすぐ解決してくれます



#04 株式会社守谷鉄筋

日本に来て仕事をする、

東京都の株式会社守谷鉄筋では、2019年から受入れを開始し、現在も多くのインドネシア人を雇用しています。今回は、同社代表の守谷さんとインドネシア人3名の声をご紹介します。(2023年5月30日取材)



受入企業 Interview

代表取締役
守谷 研 氏

— 受入れを決めた理由は？

会社の今後を考えたとき、若手の採用がうまくいってなかったことが悩みでした。そんななか、インドネシアの平均年齢が20代と聞き、純粋にその若さに魅力を感じて、受入れを決めました。また、インドネシアが親日国というのも安心材料の一つではありました。

— 受け入れて良かった点は？

彼らに仕事を教えることによって日本人従業員が責任感を持つようになってきました。また、やる気も上がったようで、みんながいきいきしています。あとは、私は個人的に彼らからインドネシア語を覚えてもらい、少し話せるようになりました。ある意味、彼らは私の先生です。

— 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

受け入れたばかりの頃は、インドネシア人に対して「褒めるときも注意するときも全員一緒に」という育て方をしていました。しかし、一度、ルールを守らない人にみんなの前で強く注意をしたことがあったんです。それがショックだったようで、注意を受けた人は大きくモチベーションを下げたしまい、大失敗しました。今では注意するときは必ず個別に呼んで行っています。

— 導入予定の企業へメッセージをください。

社長によってはドンと構えて現場に出ない人もいます。でも、私は一緒に現場に出て密に会話をするほうが、彼らと仲良くなれると思っています。言葉の使い方もどンドンと自分に似てきて、そうなると一緒にいて本当に楽しくなるんです。もちろん育成や生活面で受入れ後1、2年は大変だと思いますが、その後はきっと彼らに助けられることのほうが多くなるはずですよ。

企業プロフィール
所在地: 東京都北区東十条5-16-2
事業内容: 鉄筋工事業 など
従業員数: 13名 (内: 特定技能2名 技能実習5名 すべてインドネシア人)
Website: <https://www.moriya-tekkin.com>
初期導入: 寮の確保 エアコンやテレビなどの生活家電 Wi-Fi環境 など

給与体系イメージ
・ 特定技能(月額基本給) 約24万円
※技能習熟等に応じた昇給あり
※精動手当、休日勤務手当、残業手当、技能手当は別途
・ 技能実習(月額基本給) 約18.5万円

そんな熱意ある彼らを 現場リーダーに育てたい

現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、同社に在籍するルトフィルさん、ヘンドラさん、アグスさんの3名にお話を伺いました。

ルトフィルさん

インドネシアでは日本で働くことに憧れを持っている人も少なくないようで、ルトフィルさんもその一人でした。「日本はゴミが道に落ちていないきれいな国です。そんな素敵な国で働けるのはうれしいことです」。現場では鉄筋を組む作業に従事していて、楽しみなのが休日の食事だとか。「渋谷や新宿のインドネシア料理店に通っています。おいしいですよ!」。

憧れの日本で働くのはうれしいこと、母国の味で英気を養っています!

ヘンドラさん

ヘンドラさんは守谷鉄筋で働く前は、実習生として沖縄で働いていました。でも、残念なことに一緒に来日した他のインドネシア人はすぐに帰ってしまったのだとか。「一人で生活するのはさみしかったですね。でも、今はたくさん同郷の仲間と働けているので幸せです」。同じ地域に興味であるバドミントンの仲間もいるそうで「日本人の友達も増えて楽しいです!」。

休日は趣味のバドミントンでリフレッシュしています!

アグスさん

10代から建設業に興味を持ち、日本で仕事を学ぼうと考え来日したアグスさん。会社の先輩が文字通り、手取り足取り教えてくれたそうで「仕事を覚えるまで付き合ってくれた、本当にやさしい人たちです」と、笑顔で話してくれました。日本に来て驚いたのが物価の高さだそう。「食べ物をお店で食べるにも、値段や税金が高い。もう少し安くしてほしいです(笑)」

仕事を覚えるまで付き合ってくれた先輩たちに感謝しています

#05 株式会社山之内工建

君たちの力は我が社の

鹿児島の株式会社山之内工建では、2014年から受入れを開始し、現在も多くの外国人を雇用しています。今回は、同社代表の山之内さんとベトナム人3名の声をご紹介します。(2023年11月30日取材)



受入企業 Interview

代表取締役
山之内 守氏

— 受入れを決めた理由は？

建設業は3K(きつい、汚い、危険)のイメージが根強く残っている業界です。それもあって、約10年前から若手が入社しない、入社しても定着しないといった状況が起こるようになりました。いずれは外国人の力を借りる時代が来ることは予測していたので、2014年から受入れをスタートしました。

— 受け入れて良かった点は？

まず受入れ前にベトナムへ行って直接面談を行ったのですが、とにかく若くて明るく、彼らなら会社の未来を任せられると確信しました。実際に受け入れてから、彼らとは友達のような関係を築いています。おかげで社内の日本人たちも一気に明るさを取り戻して、会社の雰囲気も若返りました。

— 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

彼らは私たちに頼って日本へ来ています。でも、逆を言えば、私たちは彼らを頼りにして仕事が成り立っているんです。それを考えれば、お互いに頼り合う同士、さほど立場に差はありません。だからこそ、普段から同じ目線で接することを心がけています。彼らからジョークを言ってきますし、ふざけ合ったりもします。社長だからと偉そうな態度は決してしません。

— 導入予定の企業へメッセージをください。

実際に受け入れてみてわかったのは、彼らは本当に優秀で実力がある人たちばかりだということです。だからこそ、単に手元作業をさせるだけの人材にしておくのは本当にもったいない。お金も大事ですが、まずは技術をしっかり教えることが大事で、そうして身についた技術は彼らが一生使えるものです。ぜひ彼らが日本にいる間に、立派な職人にしてあげてほしいですね。

企業プロフィール
所在地: 鹿児島県鹿児島市東谷山7-8-22
事業内容: 鉄筋コンクリート構造の型枠工事
従業員数: 40名 (内: 特定技能3名 技能実習9名 ベトナム人、中国人)

初期導入: 寮の確保(会社近くに軒家を借り受ける)
生活指導員 エアコンなどの生活家電 自転車 など

給与体系イメージ
・ 特定技能(月額基本給) 約21.6万円~
※諸手当の定めと会社業績・勤怠成績等により決定
・ 技能実習(月額基本給) 約16万円~

未来に輝きを与える

現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、またこれからの目標について、特定技能2号のロンさん、特定技能1号のクイさん、技能実習生のフィンさんの3名にお話を伺いました。

ロンさん



「ずっと前から日本で働き続けることが目標だった」というロンさん。2023年10月には、型枠業として九州初、全国でも2人目となる特定技能2号を取得しました。「これで家族を日本に呼ぶこともできます。また、車の免許も取ることができました。これで安心して暮らすことができます。今はそれが何よりもうれしいです」。そう満面の笑顔で話してくれました。

特定技能2号になって家族を呼べる、それが何よりもうれしい

クイさん



2021年に特定技能1号になったクイさんは、家族を支えるために日本の建設業で働き始めました。実際に現場で作業をしてみると「型枠という仕事がとてもおもしろくて好きになりました。難しい作業も楽しくできています」。ロンさんとは故郷が同じで、いつもお世話になっているのだとか。「本当にやさしい先輩です」。尊敬する先輩に続く活躍に期待です。

型枠の仕事がおもしろくて好きになりました!

フィンさん



フィンさんは日本語能力試験のN2を取得しており、読み書きがとても得意です。「でも、話すことはちょっと苦手(笑)」。日本は自然豊かできれいな国だと聞き、生活してみたいと思ったのがきっかけで来日したとか。実際に来てみると「川の美しさには驚きました」。目標は、ロンさんのようになること。「人の見本になるような立派な職長を目指しています!」

人の見本になるような立派な職長を目指す!

困った時に活用したい

IDEAS

COLLECTION

初めて受入れをする企業にとって、外国人と仕事をし、住まいを提供するのは不安なものです。そこで、実際に受入れをスタートしている企業が、実践しているコミュニケーションのコツや教育方法など、さまざまなアイデアを紹介しします。

「色」で指示をする

来 日したばかりの外国人はまだ日本語を十分に理解しておらず、道具の名称を教えてもすぐには覚えられません。そこで、まず日本語で「色」を教えて、指示をする際には「その赤色のものを持って」「あその青色のものを持ってきて」と、色で伝えている企業があります。すると、物の名前がわからなくても色で理解してくれるそうです。



地元のお祭りに参加する

日 日本の文化を知ってもらうために、有名な観光地や地域のイベントなどへ連れて行く企業が多い中、地元のお祭りに参加させている企業があります。見学だけでなく、実際に半纏はんてんを着て神輿を担ぐ体験をさせることで、日本独自の文化を理解してもらうのだとか。また、その貴重な体験が良い思い出となって、日本への愛着にもつながっているようです。



日本人の友達を紹介する

来 日当初は知り合いや友人もおらず、慣れない生活でホームシックになる外国人もいます。そこで、とある企業では社長自ら居酒屋などに連れて行って飲み友達を紹介し、一緒にお酒や食事を楽しんでいます。日本人の友達や知り合いができることで異国での生活にも慣れ始め、「自分が日本人から受け入れられている」ことを理解してもらえるそうです。

掃除はまずお手本を見せる

仕 事を教える時、「やってみせる」ことを基本としている企業は少なくありません。そんななか、寮の掃除を教える時にも、まず手本を見せることが大切です。例えば、トイレ掃除をする際に、「ピカピカに磨く」とはどれくらい磨き上げるのか。そうした日本人ならではの感覚が外国人には伝わりづらいので、まずは手本を見せるとよく理解してくれます。



固定メンバーでチームを組む

コ ミュニケーションが得意な人もいれば、苦手な人もいます。そこで、職場に慣れるまでは仕事で組むメンバーを固定化し、打ち解けるまで人を代えないという方法があります。仕事はもちろん、車での移動や食事など、同じメンバーと時間を共有していくなかで、徐々に距離が縮まり、チームワークが生まれやすくなります。



注意した後は必ず説明する

外 国人に現場で注意した後、注意した本人が必ず説明し、フォローを入れるという取組みをしている事例があります。注意された理由をよく理解していない場合があるからです。注意したままにするのではなく、なぜ注意したか、どうすべきだったのか、それを仕事終わりなどに伝え、理解してもらうことが大切です。



道具を自分たちで管理させる

物 を大切に使う習慣を身につけるための方法として、道具、作業着など消耗品に使える支給額を毎月決めて、壊れてもその範囲内でやりくりするなど、すべて自分たちで管理させている企業があります。すると、例えばスケール一つにしても、長くもたせるために大事に扱うようになり、結果的に月々にかかっていたコストが下がったそうです。



わたしの視点 ～ my point of view ～

本気で関わり育てれば、 お互いに必ず成功すると信じています

株式会社山之内工建 代表取締役
山之内 守 氏

驚くべきことに山之内さんは、社長という立場であるにもかかわらず、外国人たちとほとんど友達と言ってよいほどの距離感で付き合っています。その背景には、彼らに日本の技術を伝え、必ず育て切るという強い思いがありました。

一番大事なのは、 彼らと同じ目線で接すること

— 受入当初の社員の反応はいかがでしたか？

最初は会話がなかなか通じなくて、細かい指示が伝わらず、半年ほどは苦労したという話を聞いています。また、当社の若手社員たちと小さないざこざもありましたが、時間が経ち慣れてきたらもうすっかり友達になっていました。休日には一緒に魚釣りへ行ったり、日用品の買い物に連れて行ってくれたりと、プライベートでの付き合いも増え、最近もみんなでドライブへ出掛けているようです。

— 彼らと接するうえで大事にしていることは？

普段から積極的にコミュニケーションをとっています。一番大事なことは、彼らと同じ目線で接すること。私の場合、大袈裟でなく友達と言えるレベルで付き合っています。冗談も言い合いますし、彼らからちょっかひだって出してくれます。そもそも彼らは敬語が使えないので、自然と会話も友達のような感じなのでしょうね。彼らのおかげで、本当に楽しく仕事をさせてもらっています。

— かなり距離感が近いのですね

そうですね。あとは監理団体を中心に結成したサッカーチームがあって、当社からも何人か選手として加入しているのですが、サッカー用品を購入するなど応援しています。仕事だけでなくプライベートで接する機会が増えているのも距離を近くさせるのだと思います。

「がんばりなさい」「必ずできる」と 励まし続けた

— 企業として特に注力していることはありますか？

彼らは日本でがんばりたいという強い気持ちをもってやっています。だからこそ、それに全力で応えてあげるべきです。彼らがいきいきと働けるように受入体制を整えれば、彼らも私たちも絶対に成功すると信じています。

— 受入れに対する企業の本気度が成功の秘訣になる、と

そうです。当社には優秀外国人建設技能者賞を受賞したベトナム人のロンがいますが、彼だって何度も挫折しかけました。私は彼に「絶対いいことがあるからがんばりなさい」「ロンだったら必ずできる」と、とにかく励まし続けました。だから、私としては一緒に苦難を乗り越えてきたという思いがあります。単に労働力として見ていたら、今のような関係は築けなかったでしょう。

進むべき道を具体的に わかりやすく伝えている

— 育成で気をつけていることはありますか？

お金も大事な一方で、彼らは日本の技術を求めています。その証拠に、彼らに凶面を見せるとものすごく喜ぶんです。現場を任せてほしいと望んでいるし、難しい仕事にもどんどんチャレンジします。今ではベトナム人だけで回している現場もあるほどです。

— キャリアアップに魅力を感じている？

その通りです。だから私も、2年目に玉掛けの資格をとったら、3年目には2級技能士を目指して、職長にまでなってもらいたいと、彼らが進むべき道を具体的にわかりやすく伝えていきます。彼らは教えれば教えるほど、どんどん吸収していく。育てるのが楽しくてしょうがないですよ。

(2023年11月30日取材)

HIDENORI 朝から読めない図面と向き合う そんな努力家ばかりです SUGIURA

株式会社守谷鉄筋 専務
杉浦 英統 氏

杉浦さんは、職長としてともに汗を流すことはもちろん、現場への送迎も担当するなど、一日のほとんどを外国人たちとともに過ごしています。そんな杉浦さんだからこそ気づける、彼らの何気ない努力や心の機微があるそうです。

あいさつさえしっかりできれば 何かあった時に助けてもらえる

— 普段のコミュニケーションで気をつけていることはありますか？

とにかく少しでも会話をしようと心がけています。例えば、朝礼の前に5分、10分の時間があつたら、「調子悪いところはないか?」「今日はこんな作業だね」と、話しかけています。それぞれ性格も違うので、相手によって話の内容や声の掛け方も変えるといったこともしています。

— 現場には馴染めていますか？

問題なく馴染めていると思います。私からは、「現場に

いるすべての人にあいさつだけはするように」と伝えていきます。こちらから話しかけるだけでも、顔を覚えてもらえすし、何かあった時に気にかけてくれることもあります。まずは「おはようございます」と「お疲れ様です」を覚えるように指導しました。

— 仕事ぶりはいかがですか？

基本的に何事にも一生懸命に取り組んでくれています。例えば現場へ行くと、まだ読めないのに図面を開いて確認しているのを見かけます。彼らなりに覚えようと努力しているのでしょうね。鉄筋の仕事は計算しなければならぬのですが、それも勉強して今ではほとんどの人が問題なくできています。

宗教上の都合もあるが それほど問題なく生活できている

— 文化の違いを感じたことはありますか？

イスラム教徒は「ラマダン」という日の出から日没まで断食をする期間があります。その間に、来日しているイスラム教徒同士で集まりがあるらしく、突然「集会があるので休みがほしい」と言われ、驚いたことがありました。どうやら社長には伝えていたらしいのですが、私が聞いたのは休暇希望日の3日前で本当に慌てました。でも、宗教上の理由なのでしっかり休んでもらいました。

— 戒律で食べられないものもあるとか

当社で働くインドネシア人は意外と自由になんでも口にしています。私の行きつけの居酒屋にも連れて行くのですが、魚介類や牛肉などなんでも「おいしい」と言って食べていて、見ているこちらが気持ちいいくらいです。特に好きなのがエビで、お店には事前に大量に仕入れてもらっているのですが、売り切れになる勢いで食べています。

仕事中に母親に電話 気づかずホームシックに

— コミュニケーションで気をつけていることは？

安全第一なので、怪我をしてほしくない思いから時には大声で注意することがあります。ただ、こちらが思っている以上に萎縮していた人がいました。詳しく話を聞いたら、彼はホームシックになっていたようで、

それに気づいてあげられなかった。その経験から、精神状態なども気にかけるようになりました。

— 普段から注意深く見てあげることも大事？

そうですね。振り返ると、その外国人は休憩中に母親へ電話していたようです。つまり、ちゃんとサインは出していたということ。私たちが注意深く見ていれば、ケアしてあげることもできたはず。それからは少しでも様子がおかしければ、声をかけ話すようにしています。大きな反省点として、とても印象深い経験でした。

(2023年6月28日取材)

わたしの視点

～ my point of view ～

評価基準を見える化したことで、 より一層努力してくれるようになりました

株式会社長井工務店 RC 事業部 部長
吉川 彰慶 氏

世話役として外国人をサポートしている吉川さん。「難しい仕事にも挑戦したい」という外国人の声をきっかけに、「力量評価表」を作成。評価基準を明確にした途端、外国人たちがより一層努力し始めたとか。詳しくお話を伺いました。

面接ではコミュニケーション能力を確認

— 採用の際に注目していることはなんですか？

特にこだわりはないですが、型枠の仕事はグループ行動が中心なので、我が強すぎて連携がとれないと難しいと思います。そこで面接では、「先輩と一緒に作業できる？」「寮では同僚と同じ部屋になるかもしれない」と話し、快く受け入れてくれるコミュニケーション能力が高そうな人を主に採用しています。

— 実際に現場などでよい人間関係を構築できていますか？

受け入れたばかりの頃、私が指示しなくても現場の人たちにあいさつし、話しかけているのを見て「これなら大丈夫」と思いました。歩み寄ってくれば、職人さんたちは他社

の人間でもかわいがってくれます。当社で働く外国人は、その点では問題なく馴染んでいます。

技術面や社交性、 言葉遣いなどを総合的に評価

— 彼らが働くうえで工夫したところがありますか？

受入当初は、彼らの力量がわからなかったこともあり、どうしても単純作業が多くなりがちでした。すると、「もっと難しいことにも挑戦したい」という声が上がって、何度か話し合いを行いました。そこで私は、きっとこのままだと彼らもストレスを抱えたまま働くことになると思い、徐々に作業レベルを上げていきました。

— 評価で工夫していることはありますか？

評価の目安として「力量評価表」を作成しました。技術面や社交性、言葉遣いなど総合的に評価できる内容になっています。面談では項目を一つずつ確認しながら「あなたはこれができるけど、これが足りないよ」と説明します。そうすると、本人たちも何をがんばればよいかを理解でき、より一層努力するようになりました。

— 働く意欲が向上したのですか？

はい。それに「私はあの人よりもがんばっている」といったあいまいな理由でのクレームが少なくなりました。また、難しいことに挑戦しようという姿勢も見えてきた。例えば、日本語能力試験です。私が「日本語をがんばってほしい」と言っても、なかなか動いてくれなかったのですが、評価につながると思った途端、俄然やる気を出したのには驚きました。

外国人からの「おもてなし」に 思わず感動

— 仕事中の接し方で気をつけていることはありますか？

言葉遣いには注意しています。普段のコミュニケーションで、日本語がわからず意思疎通がうまくいかないこともあります。そんな時は「わからなければわからないでいい」くらいの気持ちで話すようにしています。そこで何度も繰り返し語気を荒く説明してしまうと、彼らに「責められている」と勘違いさせてしまいます。次から聞きづらくなっても困るので、強い口調にならないようには気をつけています。

— 彼らとの交流で印象に残っていることは？

ある日のこと、来日したばかりのベトナム人が「私たちの部屋に遊びに来てください」と、招待してくれたことがありました。寮の部屋へ行ってみると、母国の料理を作ってくれていて、お酒まで用意してある。まだ給料を支払う前で、お金もそれほどないはずなのに、おもてなしをしてくれて。そんな気持ちのいい彼らと一緒に働けることに感動したのを覚えています。

(2023年10月31日取材)

外国人材の建設キャリア Future

海外で働くことは、人生において大きなチャレンジです。特定技能外国人は、どんな経験を経て「今」にいたのか。「この先」にどんな夢を見据えているのか。チャレンジャーたちのキャリアをご紹介します。



株式会社山之内工建
氏名 **NGUYEN THANH LONG**
愛称 **ロンさん(27歳)**
特定技能開始日:2020年9月1日
滞在期間:9年目
出身:ベトナム



来日前

先輩たちから日本の魅力を聞いて日本で働くことを決意



高校の時に、近所に住む先輩たちが日本へ働きに行っていて、「日本はいいところだよ」と教えてもらいました。それで私も卒業後は日本へ行こうと決めました。でも、建設業についてはまったく経験がなく、日本語学校へ通い始めてからどんな仕事かを知りました。

約3カ月の訓練後に緊張の現場デビュー

入社直後はまず加工場で釘打ちなどの簡単な作業の練習からスタートしました。そして3カ月ほど訓練した後に現場デビューです。私の初めての現場は鹿児島市内の9階建てマンションで、とても緊張したのを覚えています。



日本で働き続ける
覚悟ができた今、目標は
この国で家を買うこと

入社
来日

技能実習生
1年目
19歳

技能実習生
2~5年目
20歳

特定技能
外国人
1年目
24歳

25歳
特定技能
外国人
2~3年目

現在

私の夢

制度誕生により日本で働き続けることが可能に

実習生として5年目に入り、翌年にはベトナムに帰らないといけないと思っていたところ、できたのが特定技能制度です。継続して日本で働くことができると知った時は本当にうれしかったです。

山之内さんから
メッセージ



代表取締役
山之内 守 氏

一期生となるロンには特別な思い入れがあります。当時は特定技能制度がなかったので、3年でベトナムに帰らなければならず、どうすれば日本に残れるかを模索したほどです。監理団体に「養子にしたらどうだろう」と、山之内ロンになってもらうかと真剣に考えたものです。それが実習生として5年に延長できるようになり、また5年になる直前に特定技能制度ができるなど、私も彼も本当に運がよかったと思っています。

登録支援機関のお花見で奥様と出会い、お付き合いがスタート。「週末にお弁当を作ってくれる彼女にやさしさや思いやりを感じて結婚を決めました」



結婚

日本で働き続けると決めたので、今の目標は日本で家を買うことです。ベトナムにいる両親も応援してくれているので、必ず叶えたいです。

日本語の試験に合格して免許取得！ ベトナム人だけで現場へ

特定技能になってすぐに取りに行ったのが運転免許です。実技はそれほど難しくなかったのですが、何よりも苦戦したのが日本語のテキストです。ひらがなは読めるのですが、とにかく漢字が読めない。結局、二度試験に落ちて、三度目のチャレンジで合格することができました。初めて後輩たちを車に乗せて、ベトナム人だけで現場に行った時はとても緊張しました。現場にいた他社の職人たちは「日本人はいないの?」と驚いていました。



職人として
活躍の場を広げたい!

一人で任されることに 大変さよりも楽しさを感じた

2年目になると、それまで日本人の先輩と一緒にしていた組み立てを一人で任せてもらえるようになりました。大変でしたが、1年目に覚えたことを自分で試せるので、楽しいという思いのほうが強かったです。3年目には図面をもらい、基礎工事を任されるなど、徐々に仕事の難易度も上がっていきました。またこの頃になると、ベトナム人の後輩に仕事を教えるようにもなりました。



Future

外国人材の建設キャリア

海外で働くことは、人生において大きなチャレンジです。特定技能外国人は、どんな経験を経て「今」にいたのか。「この先」にどんな夢を見据えているのか。チャレンジャーたちのキャリアをご紹介します。



「一緒にやってみよう」
心の支えになった
先輩からのアドバイス



株式会社長井工務店
氏名 PHAN CAO TRIEU
愛称 チェウさん(33歳)
特定技能開始日:2020年11月18日
滞在期間:9年目
出身:ベトナム



ベトナムで出会った日本人の真面目さに驚き

ベトナムで大学に通っている時に、建設業のアルバイトをしたことがありました。その現場には日本人や韓国人といった外国人も働いていたのですが、驚いたのは日本人の真面目さです。誰よりも仕事をがんばっていて、時間も必ず守るなど、気になる存在だったのです。そして実際に日本に来るとその文化が根付いていて、とても感動しました。



技能実習生
1年目

25歳

入社

来日

来日前

来日が決まると書籍やYouTubeで建設業の仕事を調べて予習したそうです

日本行きのきっかけはニュースやアニメだった

ベトナム中部のハティン省で生まれ育ちました。日本についてはニュースやアニメを見て興味をもち、いつかは行ってみたいと考えていたので、実際にそのチャンスが来た時は即決でした。



教科書を購入して独学でN2を取得

仕事と並行してがんばっていたのが日本語の習得です。2年目にN3、3年目にN2に合格しました。市販の教科書で文法などを勉強したので、ほとんど独学です。毎日少しずつですが、仕事が終わってから寝までの時間を勉強にあてていました。現場で使う資格については、仕事が慣れるにつれて、玉掛け、高所作業車、型枠支保工、と徐々に取得していきました。



技能実習生
2~5年目

26歳

特定技能
外国人
1~2年目

30歳

初めて図面の拾い出しから任された現場が消防署の訓練棟です。とても緊張しましたが、普段から先輩たちの仕事を見ていたのになんとか上げることができ、今では大きな自信につながっています。

なんでも答えてくれる先輩たちに感謝



最初の1カ月は会社の資材置き場で、仕事で使う用語や道具の名称などを集中的に学びました。特に建設業は安全が第一なので、まずは事故をなくすために、危険予知に関する知識を身につけるのです。実際に現場に出てみると、思っていたよりも気をつけなければならないことが多くて、自分の身は自分で守ることの大切さを痛感したのを覚えています。心の支えになったのが、先輩からのアドバイスです。現場では「こうしたほうが良い」「一緒にやってみよう」と声をかけてくれたので、とても心強かったですね。それに、私は気になったらすぐに解決したいタイプなので、仕事終わりに自分から先輩たちにどんどん質問していたのですが、わかりやすく答えてくれたのはありがたかったです。

妻との結婚を機に日本でがんばることを決意



2023年に特定技能2号に移行しました。実は、来日したばかりの頃はいずれ母国へ帰ろうと思っていたのですが、考えが変わったきっかけが結婚です。妻が「日本には長くいたい」と言っていたので、二人で話し合い、これからもこの国でがんばっていこうと決めました。

現在

32歳

特定技能
外国人
3年目

職人として
活躍の場を広げたい!

一級型枠施工技能士に合格



先輩社員
神田さんから
メッセージ



R.C.事業部課長
神田 敏和 氏

チェウが来日したばかりの頃、異国の地での生活は不安だろうと、よく寮の部屋を訪ねていました。現場で注意した日の仕事終わりに、缶ビールを持って部屋へ行き、注意した理由を説明したこともあります。そうした時、彼はしっかりと話を聞いて、同じ失敗をしないように次の日から気をつけていました。また、彼からも図面を手「わからないところがあるから部屋へ来て教えてほしい」とお願いをしてくるなど、本当に努力家だと思います。

現地の
インドネシア人に
聞いてみた!

アンケートから読み取る

となりのホンネ

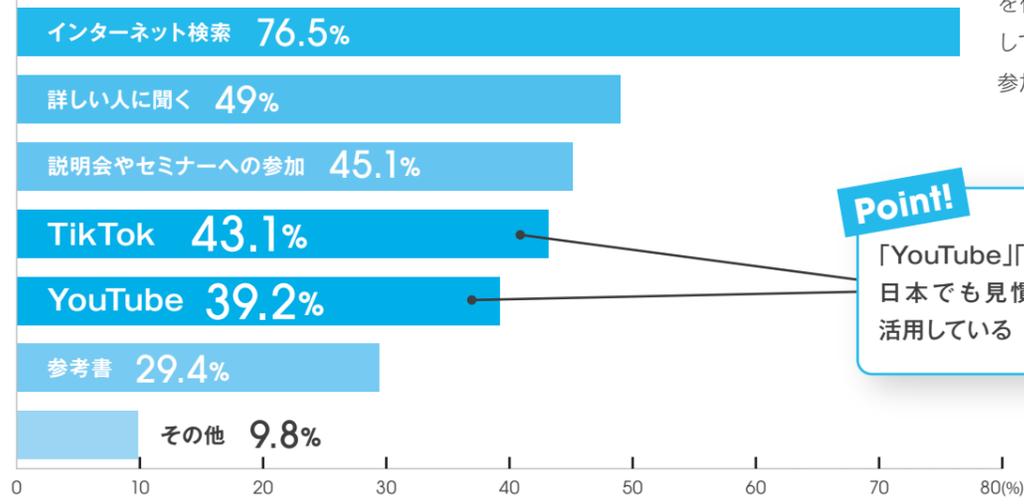
近年、日本にいる外国人材のなかでも急増しているのがインドネシア人です。JACでは、インドネシア現地に於いて日本で働くことを希望する人を対象にしたセミナー開催などを展開しています。そこで、これから日本で働くことを希望している現地のインドネシア人の方々に、海外で働くことについて、また日本についての印象などアンケートを行いました。その一部をご紹介します。

期 間：2024年2月3日
対 象：職種説明会参加者
方 法：インターネットとメールによるアンケート
(複数回答方式)
回答数：インドネシア人51名



海外で働くことや日本についてどう思っている？

Q 情報収集によく使っている方法は？



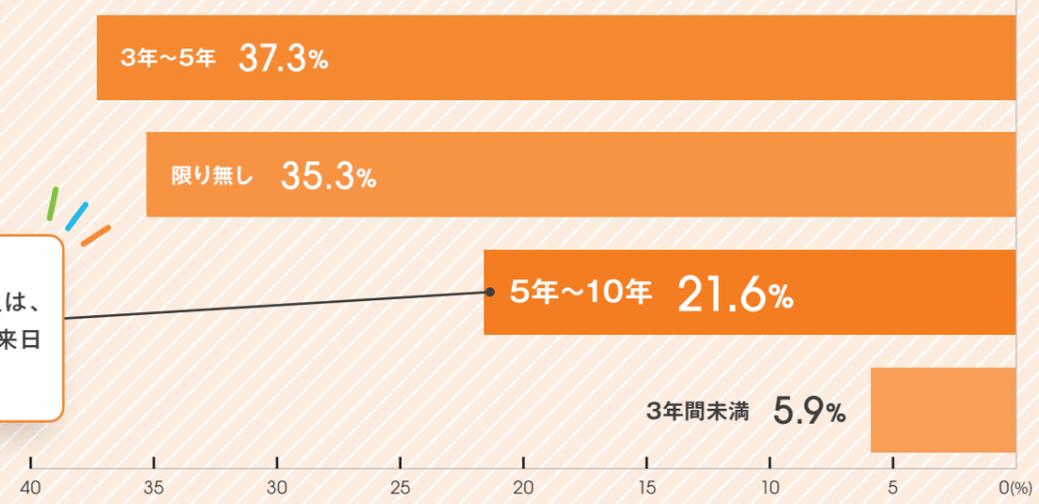
現地のインドネシア人は日本人と同じく、ほとんどの人がスマートフォンを使ってインターネットで情報を収集しています。また、セミナーなどへの参加も積極的なことがわかります。

Point!
「YouTube」「TikTok」など、日本でも見慣れたSNSも活用している

※職種説明会参加者の回答です。

一番多い「3年～5年」は、現状の「技能実習制度」の活用を想定していることがわかります。意外なのは「限り無し」で、日本で働き続けようと考えている人も同じくらいいるようです。

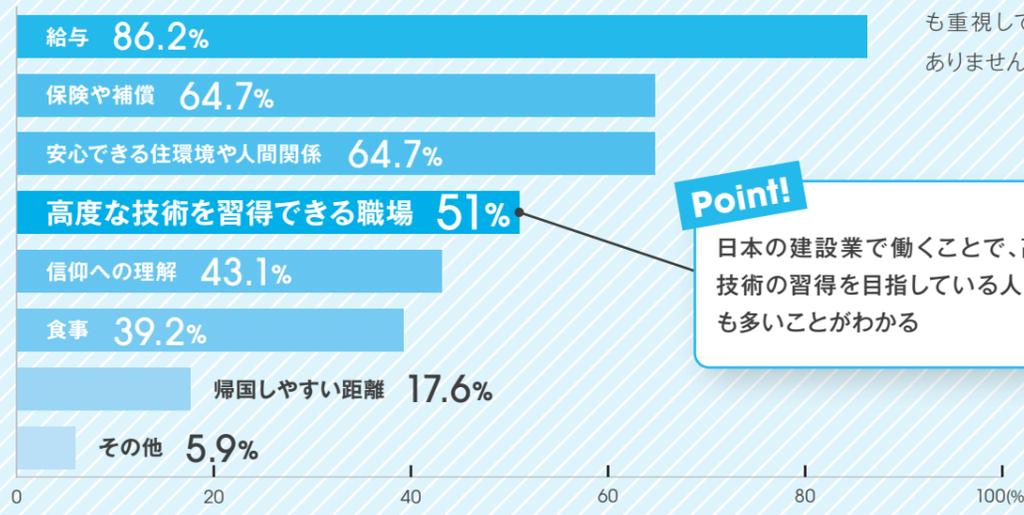
Q 日本で働くとしたら、どのくらい働きたいですか？



Point!
「5年～10年」と答えた人は、明確な夢や目標があって来日を計画しているのかも!?

※職種説明会参加者の回答です。

Q もし海外で働く場合、重視することは？



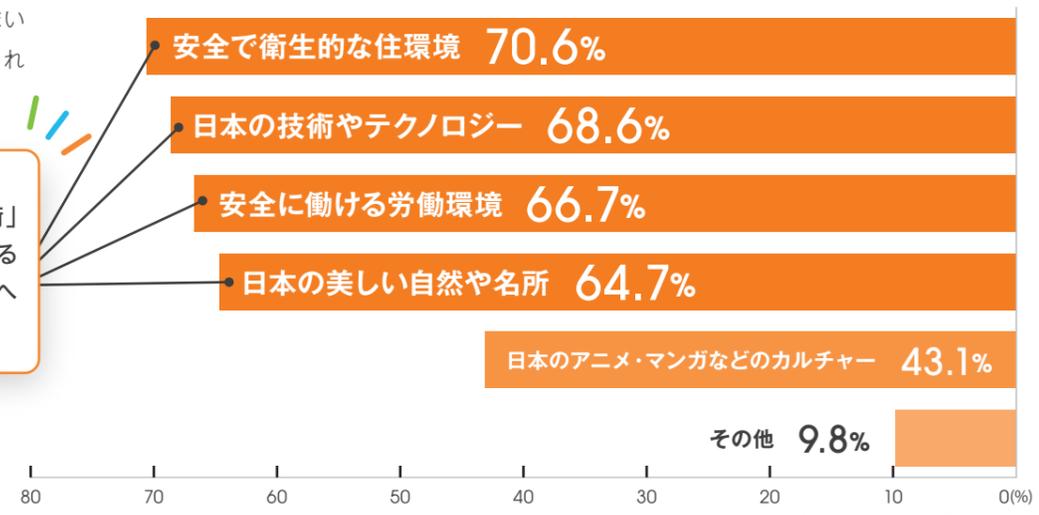
給与はもちろんですが、保険や補償、住環境や人間関係など、住居や職場の環境についても重視していることがわかる回答が少なくありません。

Point!
日本の建設業で働くことで、高い技術の習得を目指している人たちも多いことがわかる

※職種説明会参加者の回答です。

ほとんど同数となりましたが、そのなかでも一番多かったのが「安全で衛生的な住環境」です。日本の住まいの快適さは、インドネシアにも知れ渡っているのかもしれませんが。

Q 日本について興味のあることは？



Point!
「労働環境」「住環境」「技術」「名所」と平均して興味があることから、日本で働くことへの期待の高さがうかがえる

※職種説明会参加者の回答です。